

H27-B-2 深度88.88~88.94m 走向・傾斜の値 (No.1126-追18) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料 2

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料 2 性状一覧表

参考2-169頁

第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

14.H-1~f-b-4-6破砕帯  
性状一覧表(13/13)

No.1126-追18

N35E72W

試料番号	深度 (m)	試料長さ (cm)	方位	傾斜	方位角 (度)	傾斜角 (度)	方位角		傾斜角	試料長さ	試料番号
							従前	見直し後			
F-0-1-4	107.05-1 (破砕帯)	31.41	35.55	N20W	73W	4.1	0.3				38
F-0-1-16	107.05-1 (破砕帯)	85.38	85.41	N20E	88E	2.3	2.0				88
F-0-2-14	107.05-2 (破砕帯)	88.88	88.94	N20E	70W	5.4	2.0				89
F-0-2-20	107.05-2 (破砕帯)	134.15	134.23	N10E	81E	7.4	2.0				135
F-0-2-21	107.05-2 (破砕帯)	152.10	152.15	N20E	84E	4.0	0.1				152
F-0-2-22	107.05-2 (破砕帯)	154.53	154.71	N42E	73E	15.1	0.9				154
F-0-4-4	108.04-4 (破砕帯)	108.04	108.71	N20E	81E	23.6	-				108

試料番号	深度 (m)	試料長さ (cm)	方位	傾斜	方位角 (度)	傾斜角 (度)	方位角		傾斜角	試料長さ	試料番号
							従前	見直し後			
107.05-2 (破砕帯)	03	61.20	61.68	N0E	80W	28.8					82
107.05-2 (破砕帯)	05	62.73	63.05	N47W	240E	8.8					84
107.05-2 (破砕帯)	07	66.03	66.06	N20E	70W	3.5					86
107.05-2 (破砕帯)	09	68.98	69.78	N20E	81E	14.4					88
107.05-2 (破砕帯)	11	68.38	68.43	N20E	84E	3.9					89
107.05-2 (破砕帯)	13	68.68	68.84	N32E	72W	5.4					91
107.05-2 (破砕帯)	15	91.68	91.78	N30W	82W	5.7					92
107.05-2 (破砕帯)	17	126.83	126.05	N24E	73W	1.7					120

No.1126-追18

N35E72NW

※1 断層区分の総合評価に基づき記載し、内照「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載  
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載  
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(間成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)  
 (-上記以外)、データを取得していない箇所

- 凡例
- ↔ : 最新活動面
  - ↔ : 破砕帯
  - ↔ : カッターバーが付いていない区間はカッターサイトを示す
  - ↔ : 断層ガワジ
  - ↔ : 断層角縁

H27-B-2 深度88.88~88.94m 走向・傾斜の値 (No.1126-追18) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料1

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

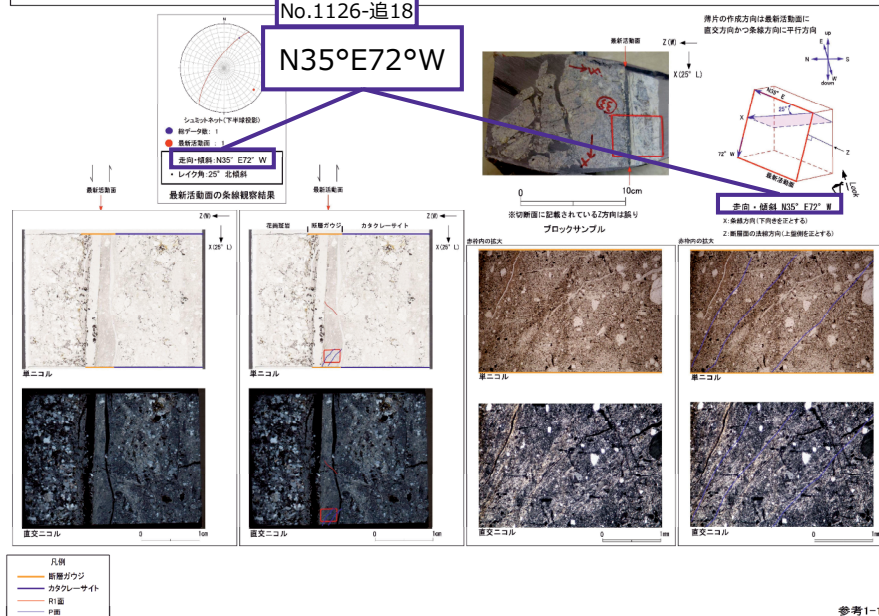
参考資料1 薄片観察結果

参考1-184頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)

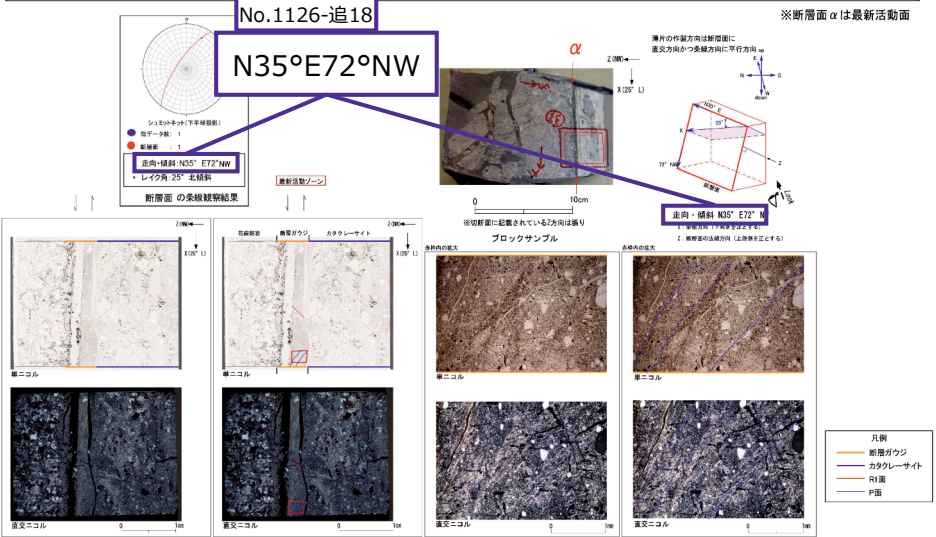
f-b-2-14破砕帯 薄片試料観察 (H27-B-2 深度88.94m)

H27-B-2のボーリングコア(深度88.94m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の方位センスは、右ずれを伴う正断層である。



•H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、右ずれを伴う正断層である。  
 •最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、断層ガウジと判断した。

- (断層ガウジ)せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- (断層ガウジ)基質は粘土鉱物を主体とする。
- (断層ガウジ)粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- (断層ガウジ)丸みを帯びている岩片が多い。
- (断層ガウジ)レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。



第7.4.4.293図 (3) 破砕部性状 H27-B-2 深度88.88~88.94m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/2))

H27-B-2 深度120.63~120.65m 薄片試料拡大写真の向き (No.1126-追19) を修正

従前

見直し後

令和3年7月16日提出資料  
 敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について (コメント回答)  
 補足説明資料 3 薄片観察結果 (その1)  
 3-166頁

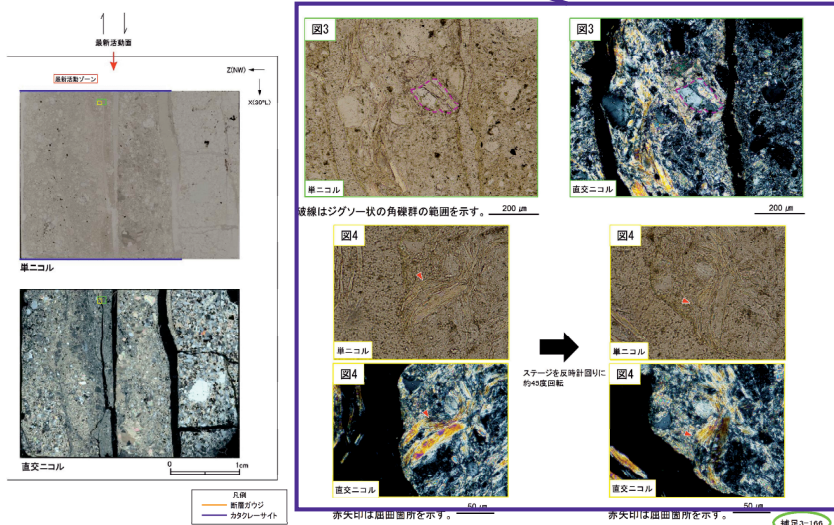
No.1126-追19

(写真の向き)

第1099回審査会合 資料1-4に追記(青太枠)

H27-B-2 深度120.63~120.65m 非モテル化破砕部 (3/3)

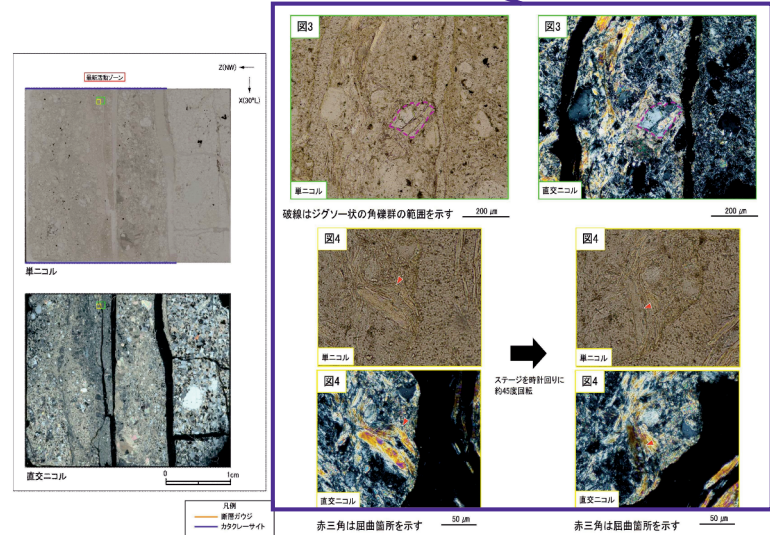
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図3)
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図4)



No.1126-追19

(写真の向き)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図3)
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図4)



第7.4.4.295図 (5) 破砕部性状 H27-B-2 深度120.63~120.65m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(3/3))

H27-B-2 深度134.15~134.23m 拡大図の青枠の位置 (No.1126-追20) を修正

従前

見直し後

令和3年7月16日提出資料

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

(コメント回答)

補足資料3 薄片観察結果 (その1)

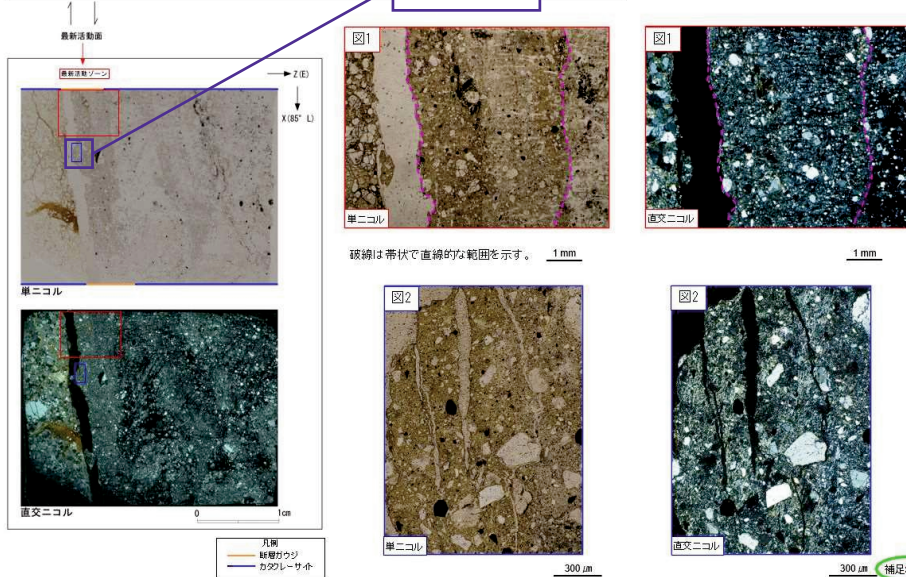
補足3-173頁

令和3年7月16日提出資料に追記(青太枠)

H27-B-2 深度134.15~134.23m f-b-2-20破砕帯 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- > 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- > 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- > 岩片は少ない。(図2)
- > 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)

No.1126-追20  
(青枠位置)

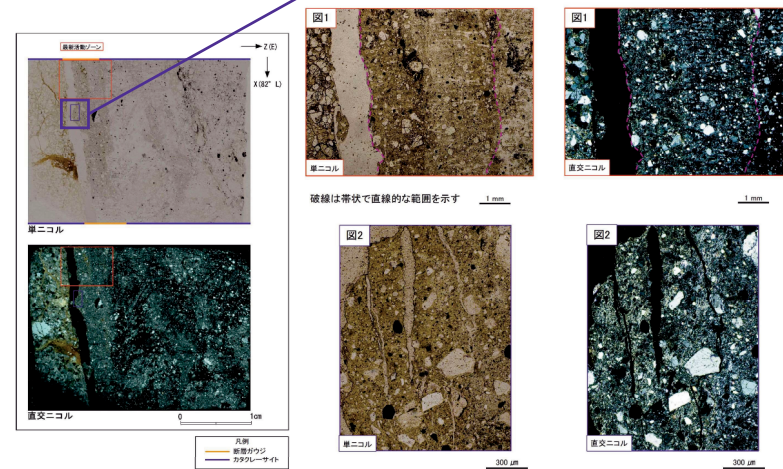


補足3-173

No.1126-追20  
(青枠位置)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- > 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- > 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- > 岩片は少ない。(図2)
- > 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)

9-7-1018



第7.4.4.299図(4) 破砕部性状 H27-B-2 深度134.15~134.23m (変位センス、薄片観察による断層岩区分(2/3))

H27-B-2 深度134.15~134.23m 拡大図の緑枠の位置 (No.1126-追20) を修正

従前

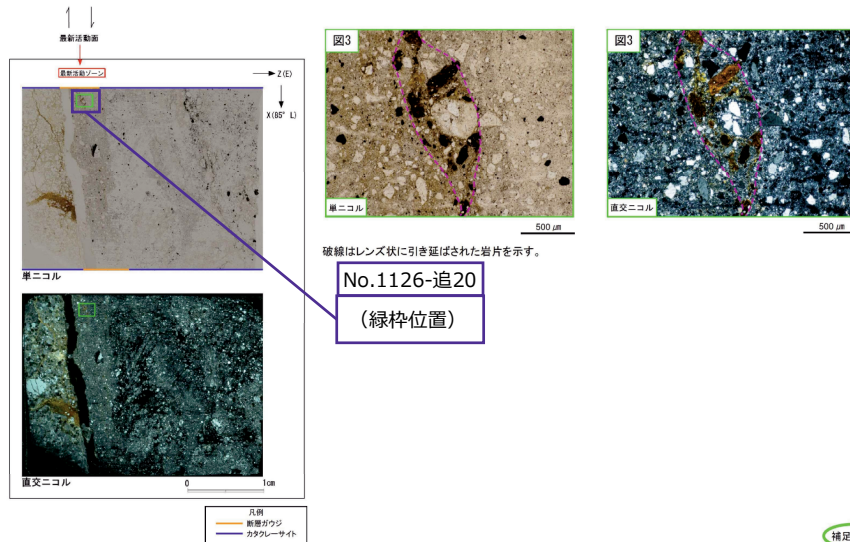
見直し後

令和3年7月16日提出資料  
 敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について  
 (コメント回答)  
 補足資料3 薄片観察結果 (その1)  
 補足3-174頁

令和3年7月16日提出資料に追記(青太枠)

H27-B-2 深度134.15~134.23m f-b-2-20破碎帯 (3/3)

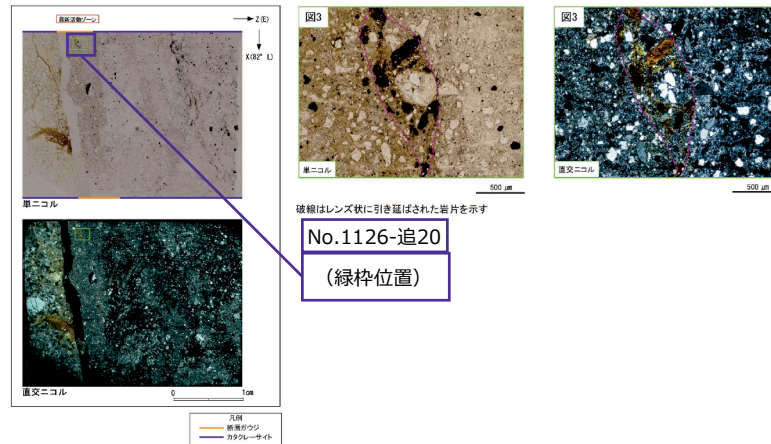
・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。  
 > レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。(図3)



補足3-174

・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。  
 > レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。(図3)

6-7-1019



第7.4.4.299図 (5) 破碎帯性状 H27-B-2 深度134.15~134.23m (変位センス、薄片観察による断層岩区分(3/3))

H27-B-2 154.53~154.71m 走向・傾斜 (No.1126-追21) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料 2

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料 2 性状一覧表

参考2-169頁

第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

14.H-1~f-b-4-6破砕帯  
性状一覧表(13/13)

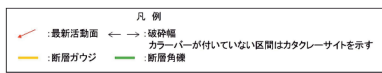
破砕帯名	層位 番号	層位 記号	層厚 (m)	走向 (度)	傾斜 (度)	破砕帯の 種類	破砕帯の 性状		地質 番号	地質 記号	地質 説明	性状 番号	性状 記号	性状 説明
							破砕帯の 長さ (m)	破砕帯の 幅 (m)						
f-b-1-4	H27-B-1 (破砕帯)	35.41	35.55	N20E	73W	4.1	0.3	無	-	80L	正	-	35	
f-b-1-6	H27-B-1 (破砕帯)	85.38	85.41	N20E	80E	2.3	フイルム状	有	標準	90	正	-	85	
f-b-2-14	H27-B-2 (破砕帯)							有	標準	25L	正	有	88	
f-b-2-95	H27-B-2 (破砕帯)							有	標準	61L	正	-	134	
f-b-2-91	H27-B-2 (破砕帯)	153.10	153.13	N20E	90	4.0	0.1	無	-	28L	正	有	152	
f-b-2-92	H27-B-2 (破砕帯)	154.53	154.71	N42E	75SE	15.7	0.3	有	標準	79W	正	-	154	
f-b-4-6	H27-B-4 (破砕帯)	108.44	108.71	N20E	87E	21.4	-	-	-	5L	-	-	108	

No.1126-追21  
N42E75SE

破砕帯名	層位 番号	層位 記号	層厚 (m)	走向 (度)	傾斜 (度)	破砕帯の 種類	破砕帯の 性状		地質 番号	地質 記号	地質 説明	性状 番号	性状 記号	性状 説明
							破砕帯の 長さ (m)	破砕帯の 幅 (m)						
H27-B-2 (破砕帯)	(f)	127.41	127.44	N10E	62E	5.6								128
H27-B-2 (破砕帯)	(f)	128.82	128.87	N20E	81E	13.1								129
H27-B-2 (破砕帯)	(f)													134
H27-B-2 (破砕帯)	(f)	134.13	134.23	N10E	10	1.4								134
H27-B-2 (破砕帯)	(f)	152.79	152.79	N20E	90	4.0								152
H27-B-2 (破砕帯)	(f)	154.03	154.11	N42E	75SE	13.7								154

No.1126-追21  
N42E75SE

※1 断層区分の総合評価に基づき記載し、両端「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載  
※2 斜めポイントの場合は、計測値を補正した値を記載  
※3 卓越しない成分については「-」を記載(再成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)  
(-上記以外)：データ未取得していない箇所



H27-B-2 深度154.53~154.71m 走向・傾斜の値 (No.1126-追21) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料1

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

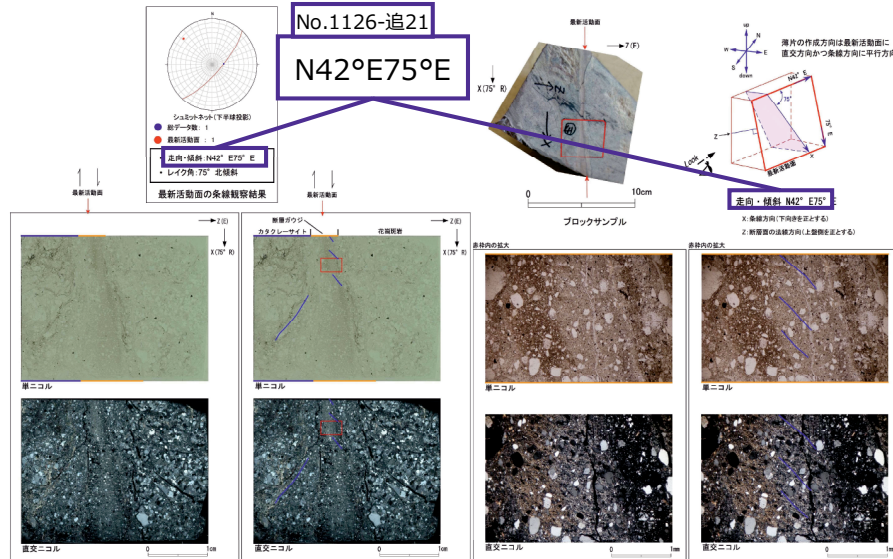
参考資料1 薄片観察結果

参考1-187頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)

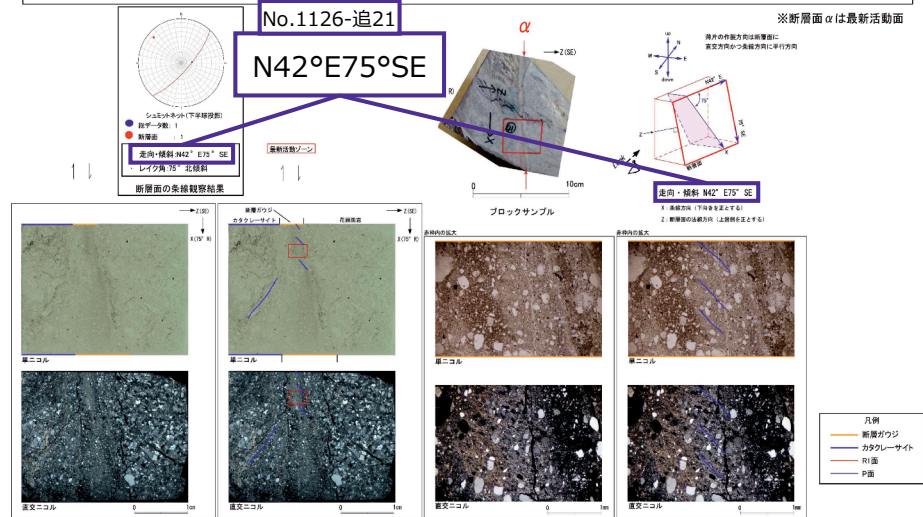
f-b-2-22破砕帯 薄片試料観察(H27-B-2 深度154.58m)

H27-B-2のボーリングコア(深度154.58m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



参考1-187

H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、正断層成分が卓越する。  
 ・最新活動ゾーンには、断層ガウジとカタクレサイトの特徴が認められるが、カタクレサイトの特徴は、カタクレサイトが断層ガウジに取り込まれたものと考えられることから断層ガウジと判断した。  
 > (断層ガウジ)せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。  
 > (断層ガウジ)基質は粘土鉱物を主体とする。  
 > 岩片は少ない。  
 > (カタクレサイト)粘土鉱物の分布は漸移的に変化する。  
 > (カタクレサイト)角ばった岩片が多い。  
 > (カタクレサイト)ジグソー状の角礫群が認められる。



第7.4.4.301図 (3) 破砕部性状 H27-B-2 深度154.53~154.71m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/2))

H24-B14-2 38.10~38.27m 走向・傾斜の値 (No.1126-追23) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料2

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料2 性状一覧表

参考2-151頁

第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

13f-b11-1-1~f-d1-5-1破砕帯  
性状一覧表(1/3)

最新活動期の岩み解構造・地形種別の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。  
最新活動期の平層については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。  
最新活動期の実位センサスについては、薄片の観察による認定を基本としている。  
なお、上記以外の観察方法で認定したものに 대해서는、表中に注釈している。

性状番号	性状 深度 (m)	性状 長さ (m)	性状 幅 (cm)	性状 厚さ (cm)	性状 色	性状 形状	性状 構造	性状 成分	性状 状態	性状 備考	性状 位置		性状 長さ (m)
											性状 北緯	性状 東経	
F-011-1-1	13f-b11-1-1 破砕帯	43.58	43.63	1000	240	2.5	2.5	無	-	100	-	北	45
F-011-2-2	13f-b11-2-2 破砕帯	77.48	78.10	NS						200	-	北	77 79
F-014-1-2	13f-b14-1-2 破砕帯	42.02	42.88	NS						50	-	北	42
F-014-2-1	13f-b14-2-1 破砕帯	28.38	28.86	NS	7700	10	0.1	有	片平滑	500	-	北	28
F-014-2-2	13f-b14-2-2 破砕帯	38.10	38.27	NS	133			有	片平滑	51	-	北	38
F-014-2-4	13f-b14-2-4 破砕帯	101.47	101.92	NS	606	4.5	-	-	-	200	-	北	101

No.1126-追22  
N58E88S

No.1126-追22  
N58E88SE

性状 番号	性状 深度 (m)	性状 長さ (m)	性状 幅 (cm)	性状 厚さ (cm)	性状 色	性状 形状	性状 構造	性状 成分	性状 状態	性状 備考	性状 位置		性状 長さ (m)
											性状 北緯	性状 東経	
13f-b14-2-2 (破砕帯)	①	38.10	38.27	NS						0.1	有	片平滑	51
13f-b14-2-2 (破砕帯)	②	38.10	38.27	NS						0.1	有	片平滑	51
13f-b14-2-2 (破砕帯)	③	42.02	42.88	NS						50	-	北	42
13f-b14-2-2 (破砕帯)	④	48.32	48.80	NS	7700	10	0.1	有	片平滑	500	-	北	48
13f-b14-2-2 (破砕帯)	⑤	68.80	69.13	NS	80	10				50	-	北	68
13f-b14-2-2 (破砕帯)	⑥	101.47	101.92	NS	606	4.5				200	-	北	101
13f-b14-2-2 (破砕帯)	⑦	108.34	108.67	NS	84	4.5				100	-	北	108
13f-b14-2-2 (破砕帯)	⑧	108.16	108.46	NS	700	7.0				100	-	北	108

凡例  
最新活動期 ← → : 破砕帯  
新層がウジ ← → : 新層角礫  
カクマーが付いていない区間はカタレーサイトを示す

※1 断層区分の総合評価に基づき記載し、尚「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載  
※2 最も近いボーリングの番号は、計測値を補正した値を記載  
※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)  
-(上記以外)、データを取得していない箇所

図7.4.4.41(8) 破砕帯性状一覧 (H24-B14-2)



H24-B14-2 38.10~38.27m 走向・傾斜の値 (No.1126-追23) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料1

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

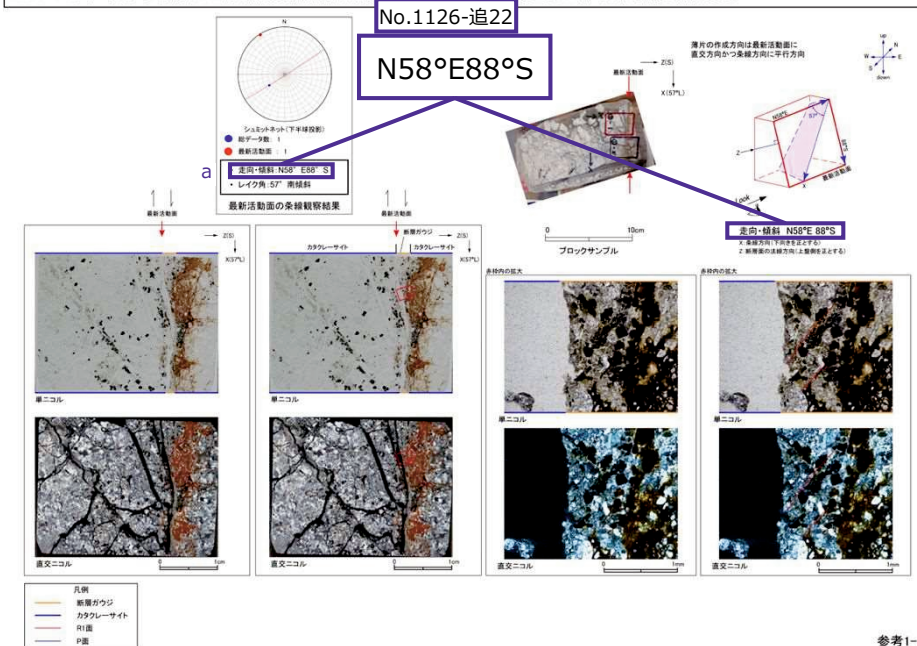
参考資料1 薄片観察結果

参考1-154頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)

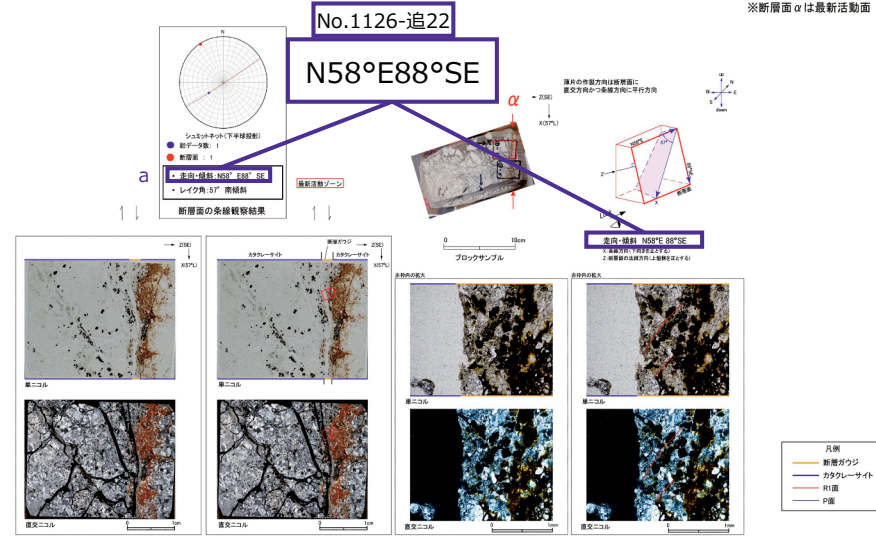
f-b14-2-2破砕帯 薄片試料観察 (H24-B14-2 深度38.10m)

H24-B14-2のボーリングコア(深度38.10m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。



H24-B14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、右ずれを伴う正断層である。  
 ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、断層ガウジと判断した。  
 > (断層ガウジ) 基質は粘土鉱物を主体とする。  
 > (断層ガウジ) 粘土状部の分布は帯状で直線的である。  
 > 岩片は少ない。  
 > (断層ガウジ) 丸みを帯びている岩片が多い。

※断層面αは最新活動面



第7.4.4.303図(3) 破砕部性状 H24-B14-2 深度38.10~38.27m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/2))

6-7-1010